5年	科目	工業英語	講義	前期	担当	小谷 進 Susumu KOTANI
電子制御工学科		Technical English	必修	1学修単位 (講義30+ 自学自習15)		
授業の概要						
グローバル化によって工業分野においても最新情報の収集、研究開発の成果を発信は英語が標準語となってきた。工業分野で使用される英語は簡潔で明瞭な文章が求められる。日常で使用される英語との違いを学び、数学や物理学、工学に関する英文読解によって工業英語の基礎を習得する。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
D. コミュニケーション能力を備え、 国際的に発信し、活躍できる能力	(D2) 自己の研究成果の概要を英語で記述し、発表することができる。			(D2-3) 自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解でき、自己の研究成果等の概要を英語で分かりやすくまとめることができる。		
授業目標						
(1)工学分野に関する内容の英文を読み、日本語に要約できる。(D2-3) (2)技術英語にふさわしい英単語を状況に応じて適切に使用し、表現することができる。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	授業概要・教育目標、授業概要、評価方法と基準等の説明				
第2回	工業英語の基礎	一般英語と工業英語の違い				
第3回	英単語	工業英語で頻出の動詞、文法(文章の形式)、10語程度の英文読解				
第4回	英単語	工業英語で頻出の動詞、熟語、10語程度の英文読解				
第5回	短文読解	10語程度の英文読解				
第6回	短文読解	10語程度の英文読解				
第7回	中間試験					
第8回	答案の返却	答案の返却及び解説				
第9回	短文読解	50語程度の英文読解、10語程度の英作文				
第10回	短文読解	50語程度の英文読解、10語程度の英作文				
第11回	長文読解	100-200語程度の英文読解				
第12回	長文読解	100-200語程度の英文読解				
第13回	長文読解	500語程度の英文読解				
第14回	長文読解	500語程度の英文読解				
	前期末試験					
第15回	解答の返却	解答の返却及び解説				
第16回						
第17回						
第18回						
第19回						
第20回						
第21回						
第22回						
第23回						
第24回						
第25回						
第26回						
第27回						
第28回						
第29回						
	後期末試験					
第30回						
評価方法 と基準	定期試験の成果を80%、課題を20%として評価する。授業目標1 (D2-3)が標準基準(6割)以上で、かつ科目全体で60点以上の場合に合格とする。評価基準については、成績評価基準表による。					
教科書等						
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

「工業英語」の成績評価基準表

A: 定期試験	学籍番号	
B: 課題レポート	氏名	
C: その他()		

授業目標	到達基準			評価割合(100%)		
	未到達基準	標準基準	優秀基準	A	B	C
				80%	20%	0%
1. 工学分野に関する内容の英文を読み、日本語に要約できる。(D2-3)	☐ 工学分野に関する内容の英語を読み、日本語に訳すことができない。 ☐ 工学分野に関する内容の英語を読み、日本語に要約できない。	☐ 工学分野に関する内容の英語を読み、日本語に訳すことができる。 ☐ 工学分野に関する内容の英語を読み、日本語に要約できる。	☐ 工学分野に関する内容の英語を読み、状況に応じた単語を用いて日本語に訳すことができる。 ☐ 工学分野に関する内容の英語を読み、状況に応じた単語を用いて日本語に要約できる。	40	20	
2. 技術英語にふさわしい単語を適切に使用して、英語で表現することができる。	☐ 適切な単語を使用して、英語で表現できない。	☐ 適切な単語を使用して、英語で表現できる。	☐ 技術英語において文章様式、単語を理解し、状況に応じた適切な単語を用いて英語で表現できる。	40		
備考						